

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 6 月 8 日 (2006.6.8)

【公表番号】特表 2002-510540 (P2002-510540A)

【公表日】平成 14 年 4 月 9 日 (2002.4.9)

【出願番号】特願 2000-542092 (P2000-542092)

【国際特許分類】

**B 0 1 D 67/00 (2006.01)**

**B 0 1 D 69/02 (2006.01)**

**B 0 1 D 71/30 (2006.01)**

**B 0 1 D 71/38 (2006.01)**

**C 0 8 J 5/22 (2006.01)**

**G 0 1 N 27/333 (2006.01)**

**C 0 8 L 101/00 (2006.01)**

【F I】

B 0 1 D 67/00

B 0 1 D 69/02

B 0 1 D 71/30

B 0 1 D 71/38

C 0 8 J 5/22 C E R

G 0 1 N 27/30 3 3 1 C

C 0 8 L 101:00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 18 年 3 月 29 日 (2006.3.29)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】請求項 1 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 1 0】

上記膜成分が 2 つ以上の添加剤を含む、請求項 1 の方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】請求項 3 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 3 0】

上記膜成分が 2 つ以上の添加剤を含む、請求項 2 1 の膜。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 6】

本発明の別の態様において、ポリマーおよび少なくとも 1 つの添加剤で製造された溶媒非含有イオン選択膜が提供され、ここで、該膜は溶媒の非存在下で形成される。該膜のポリマーは、例えば、塩化ビニル、ポリ塩化ビニル、または塩化ビニルのコポリマー（例えば、酢酸ビニルおよび / またはビニルアルコール）であり得る。添加剤は可塑剤であり得

る。有用な可塑剤は、例えば、芳香族エーテル、脂肪族 - 芳香族エーテル、アジピン酸エステル、セバシン酸エステル、フタル酸エステル、ラウリン酸エステル、グルタル酸エステル、およびリン酸エステルを含む。添加剤はまたイオン選択剤であり得る。膜成分はまた、2つ以上の添加剤、例えば可塑剤およびイオン選択剤を含み得る。膜成分は、1つ以上の添加剤、例えば、可塑剤修飾剤、活性成分、イオン流動性増強剤、熱安定剤、光安定剤、界面活性修飾剤、親油性化剤、および中間固定化剤をさらに含み得る。